

氏名	小川 亮
学位の種類	博士（経営管理）
学位記番号	博甲第七号
学位授与年月日	平成30年3月22日
学位授与の要件	嘉悦大学学位規程第6条
学位論文名	製品開発プロセスにおけるデザインの有効性に関する研究 ～デザイン価値の歴史的解釈と実証研究を通じて～
論文審査委員	主査教授 嶋口 充輝                      副査教授 上原 聡 副査 准教授 石井 裕明（外部審査員）

### 論文審査の結果の要旨

本論文は「製品開発プロセスにおけるデザイン活用の有効性」に焦点をあてた研究である。これまで、デザインに求める価値として、表層的価値や経営資源的価値はしばしば指摘されてきたが、本研究は、製品開発の初期段階で商品のアイデアやコンセプトを早々にデザインで可視化し、開発チームやユーザーに見せる事で製品の意味や価値を探索しやすくする役割、つまり「価値探索手段」に注目する。とりわけ、近年の製品開発プロセスがリニアーからノンリニアー型へと移行する傾向のなかで、「デザインを使うことで市場性の高い、正しい選択肢にたどり着く役割（後退帰納法価値）」と「消費者から商品の改善アイデアや新しい使い方が引き出しやすくなる役割（仮想経験価値）」の2つを作業仮説として、トイレット・ペーパーと飲料のデザインを対象に3回の大掛かりな実証実験を行った（概ねの支持と、一つの逆結果）。本論文では、この調査結果を踏まえて、理論的、実務的な示唆を提示した。全般的に手堅い研究で、資料的にも価値があり、日本マーケティング学会の発表でも高い評価を得た。

主査と副査、三人の合議の結果、当論文は学位授与に値するとの結論に達した。